

2 平成 26 年度 愛媛県情報教育研修会

情報教育研修会は、東予・中予・南予と1年ごとに開催地を移動させながら行っている。今年度は、中予開催の年であった。

松山市では毎年、松山市小学校情報教育研究委員会により、日本の情報教育の最先端の講師を迎え、非常に高度な実践が出揃う、情報教育研修会が開催されている。県内の他郡市の先生にもその会に参加し、刺激を受けるチャンスが得られるようにと考え、今年度は松山市と共催させていただくことにした。その際、愛教研情報教育委員会は、午後からのA分科会を担当した。

- | | |
|--------|--------------------|
| 1 日 時 | 8月1日(金) 9:30~16:00 |
| 2 場 所 | 愛媛大学 南加記念ホール 他 |
| 3 参加者数 | 松山市内174名 松山市外40名 |
| 4 内 容 | 詳細は次ページの要項を参照 |



<全体会の様子>



<分科会Aの様子>

全体会では、岩美町立岩美中学校の岩崎先生をはじめ松山市の優れた実践発表と、放送大学中川先生や金沢星稜大学佐藤先生といった日本の情報教育の最先端の方々のパネルディスカッションが行われた。タブレットの効果的な活用方法や今後どう活用していくかなど、非常に充実した内容であった。

また、午後からの分科会では、情報教育委員会は分科会 A を担当し、『「ICT×授業デザイン=∞」学力向上をめざした活用を考えよう』と題し、授業での機器活用のワークショップを行った。松山市の教室環境(大型テレビ、コンピュータ、実物投影機)を8セット用意した。小学校は学年別と専科の7グループ、中学校は1グループとなり、2学期から使える授業デザインについて話し合い、模擬授業形式で発表を行った。学力向上を目指すためにはICTを使ってどのような授業をデザインしていけばいいのか、グループで考えたことを会場全体で共有することができた。

今年度、共催をしてみて、松山市の優れた研修会に松山市以外から参加できることには非常に大きなメリットがあることが分かった。その橋渡しができるよう、東・中・南予順の開催は継続しつつ、中予開催を毎年として、来年度以降も松山市との共催をしていきたいと考えている。

「共に創ろう！」これからの情報教育

—子どもたちの「生きる力」を育てるために—

主催 松山市教育委員会 松山市小学校情報教育研究委員会

共催 愛媛県教育研究協議会情報教育委員会 デジタル表現研究会 (D-project2)



【日時】 2014年 **8**月 **1**日 (金) 9:30~16:00 (9:00 受付開始)

【会場】 **全体会** : 愛媛大学 南加記念ホール
分科会 A : 愛媛大学 教育学部2号館1階 103教室
分科会 B : 愛媛大学 教育学部1号館1階 102教室
分科会 C : 愛媛大学 大学会館3階
分科会 D : 愛媛大学 教育学部3号館4階 多目的演習室

9:00 9:30 9:45

11:30 13:00

16:00

8月1日(金)	受付	開会行事	全体会		昼食	分科会	A	「ICT×授業デザイン=∞」 学力向上をめざした活用を考えよう 愛教研 情報教育委員会	閉会行事 (分科会ごと)
			9:45~10:35 ●○実践事例発表セッション○● 〈実践事例発表者〉 岩美町立岩美中学校 岩崎 有朋先生 松山市立伊台小学校 阿部 泰成先生 松山市立雄郡小学校 二宮 真美先生				B	D-pro ワークショップ 「タブレットで協働的な学びを体験しよう」 講師: 岩崎 有朋先生 (岩美町立岩美中学校) コメンテーター: 佐藤 幸江先生 (金沢星稜大学)	
			10:45~11:30 ●○総括セッション○● 〈パネリスト〉 金沢星稜大学 教授 佐藤 幸江先生 岩美町立岩美中学校 教諭 岩崎 有朋先生 〈コーディネーター〉 放送大学 教授 中川 一史先生				C	「探ろう! タブレットを使った授業の可能」 コメンテーター: 中川 一史先生 (放送大学)	
							D	NHK ワークショップ 「放送番組とデジタルコンテンツで授業づくり!」 講師: 宇治橋 祐之先生 (NHK 放送文化研究所)	

【 全体会内容 】

【 分科会内容 】

●○実践事例セッション○●
「タブレット端末活用事例」
 岩美町立岩美中学校 岩崎 有朋先生
 タブレット端末を授業でいかに活用し、子どもたちにどのような力をつけるか。中学校理科の授業を中心とした実践事例について紹介していただきます。

「始めよう!! 情報モラるん」
 松山市立伊台小学校 阿部 泰成先生
 「紙と鉛筆でできる」をキーワードに、大人も子どもも本気で考える情報モラル教育を目指しました。

「特別支援教育の視点に立った分かる・できる授業づくり ~ICTの有効活用を通して~」
 松山市立雄郡小学校 二宮 真美先生
 昨年度より特別支援教育の視点に立った授業改善を行い、一人一人の児童が分かる・できる授業づくりに取り組んでいます。教科等のねらいを達成するための手段の一つとして、ICTの活用について研究をしました。本校の取組から、実践のヒントを見つけていただければ幸いです。

●○総括セッション○●
「タブレット端末で新しい学びを創造する」
 タブレット端末はこれからの学びの場で、どのように活用されていくべきなのか。また、どのような可能性があるのか。3名の先生方に実践事例を交えながら、様々な視点から話し合ってください。

〈パネリスト〉
 金沢星稜大学 教授 佐藤 幸江先生
 岩美町立岩美中学校 教諭 岩崎 有朋先生
 〈コーディネーター〉
 放送大学 教授 中川 一史先生

A : ICT×授業デザイン=∞~学力向上をめざした活用を考えよう~
 「ICTを活用すれば学力が上がる!」しかし、そのためには、ICTを効果的に活用することが必要不可欠です。ちょっとしたアイデアで、「だれでも」「手軽に」「簡単に」効果的な活用をすることができるはず。教室にある機器に加え、デジカメ・タブレット・スマホなど、使えるものを何でも活用して、学力向上をめざした授業デザインを考えていきましょう。

D-pro ワークショップ (定員35名)
B : タブレットで協働的な学びを体験しよう
 最近話題のタブレット端末。どのように活用させ学びを深めていけばよいのでしょうか? 模擬授業を通して、タブレット端末を子どもたちが活用する授業デザインをみんなで考えていきましょう!
 模擬授業: 岩崎 有朋先生 (岩美町立岩美中学校教諭)
 石田 年保先生 (松山市立八坂小学校教諭)
 コメンテーター: 佐藤 幸江先生 (金沢星稜大学教授)

C : 探ろう! タブレットを使った授業の可能性
 教育の情報化に伴い、急速に変わる学校のICT環境。タブレットが届いてから慌てるか、それとも…。本分科会では、松山市に導入されるタブレットの基本操作方法や、授業での活用方法をみなさんと学び合います。
 コメンテーター: 中川 一史先生 (放送大学教授)

NHK ワークショップ (定員30名)
D : 放送番組とデジタルコンテンツで授業づくり!
 授業で、放送番組やデジタルコンテンツを活用したことがありますか? NHKにはすぐに使える放送番組やデジタル教材が盛りだくさん! NHKの宇治橋先生を講師に招き、学校放送番組やデジタルコンテンツの利活用についてのヒントやアイデアをいただきます。さらに、ワークショップを行いながら、番組を効果的に使った授業づくりに取り組みます。
 講師: 宇治橋 祐之先生 (NHK 放送文化研究所)